

施策目標個票

(国土交通省26-㉓)

施策目標	整備新幹線の整備を推進する	
施策目標の概要及び達成すべき目標	広域的な幹線鉄道ネットワークの質的向上により、全国一日交通圏の形成に寄与する観点から、整備新幹線の整備を推進する。	
評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ①目標超過達成 (判断根拠) 唯一の業績指標である指標113はA評価で、平成26年度実績値の達成率が235%であり、目標年度より前に目標も達成したことから、①目標超過達成と判断した。
	施策の分析	外的要因としてJR東日本の平成25年3月16日のダイヤ改正により、東北新幹線の一部列車において東京・新青森間の輸送時間が、従来の3時間10分から最短2時間59分に短縮されたことで実績値の増加となった。さらに、平成27年3月14日の北陸新幹線(長野・金沢間)の開業により、新たに3時間圏が増加し、目標値を達成した。
	次期目標等への反映の方向性	今後も広域的な幹線鉄道ネットワークの質的向上により全国一日交通圏の形成に一層寄与するため、引き続き、整備新幹線の着実な整備を進めるとともに在来線との接続の円滑化に向けた鉄道事業者及び沿線自治体の取組を支援し、新幹線と在来線が一体となったネットワークの形成を推進することとする。なお、次期目標については、施策の進捗及び平成27年度の国勢調査の結果を踏まえて設定する。

業績指標	113 鉄道整備等により5大都市からの鉄道利用所要時間が新たに3時間以内となる地域の人口数	初期値	実績値					評価	目標値
		23年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		28年度
	年度ごとの目標値	-	-	-	21%(30万人)	21%(30万人)	114%(160万人)	A	100%(140万人)

施策の予算額・執行額等【参考】	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求額	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	77,620	73,350	74,335	77,947	
		補正予算(b)	3,422	454	1,430	-	
		前年度繰越等(c)	24,079	33,068	38,687	-	
		合計(a+b+c)	105,121	106,872	114,452	77,947	
	執行額(百万円)	72,052	68,186				
	翌年度繰越額(百万円)	33,068	38,687				
	不用額(百万円)	0	0				

学識経験を有する者の知見の活用	国土交通省政策評価会(平成27年6月23日)
-----------------	------------------------

担当部局名	鉄道局	作成責任者名	幹線鉄道課(課長 村田 茂樹)	政策評価実施時期	平成27年8月
-------	-----	--------	-----------------	----------	---------

業績指標 113

鉄道整備等により5大都市からの鉄道利用所要時間が新たに3時間以内となる地域の人口数

評価

A	目標値：100%（140万人）（平成28年度） 実績値：21%（30万人）（平成25年度） 114%（160万人）（平成26年度） 初期値：—（平成23年度）
---	--

（指標の定義）

5大都市（札幌、東京、名古屋、大阪、福岡）の各中心駅からJR等の幹線鉄道により、新たに3時間以内に到達できる地域の人口数

（目標設定の考え方・根拠）

広域的な幹線鉄道ネットワークの質的向上により全国一日交通圏の形成に一層寄与する観点から、国勢調査による人口、現行のダイヤ設定等に基づき、5大都市（札幌、東京、名古屋、大阪、福岡）の各中心駅から、新たに3時間以内に到達することが出来る地域の人口数を目標値として設定。

（外部要因）

鉄道事業者のダイヤ改正等

（他の関係主体）

地方公共団体（建設財源の一部を負担）、鉄道事業者（営業主体）

（重要政策）**【施政方針】**

なし

【閣議決定】

なし

【閣決（重点）】

なし

【その他】

整備新幹線問題検討会議決定

「整備新幹線の整備に関する基本方針」（平成21年12月24日）

「当面の整備新幹線の整備方針」（平成21年12月24日）

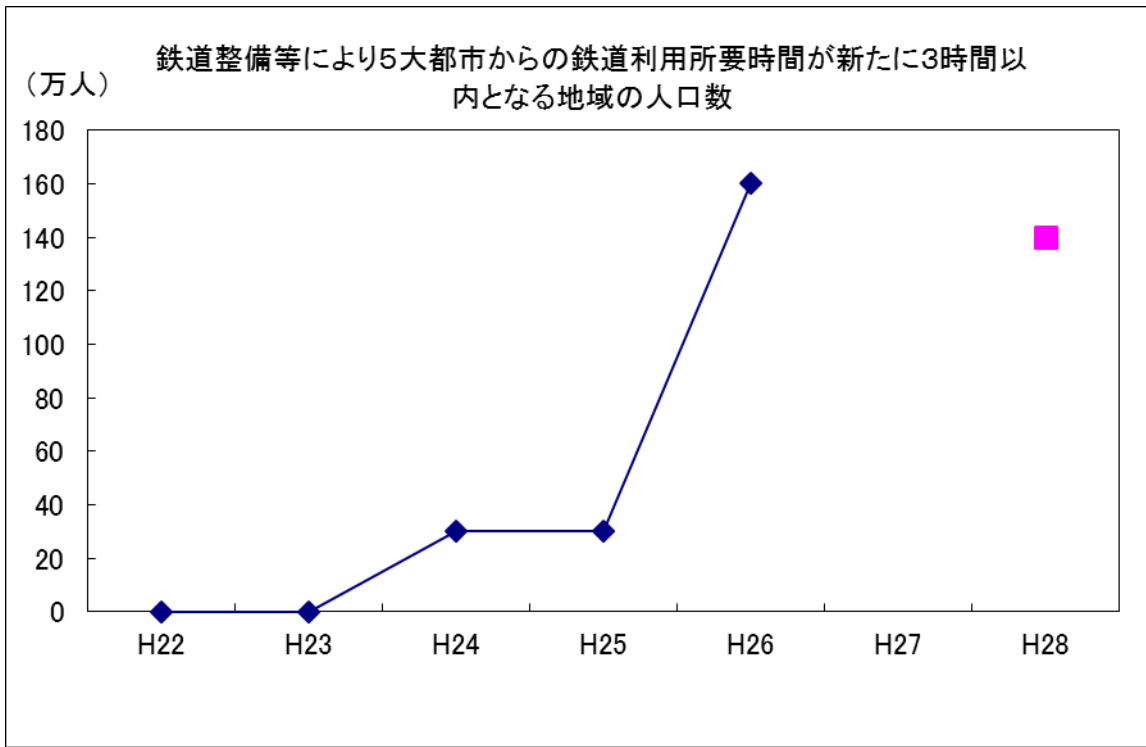
「整備新幹線の未着工区間等の取扱いについて」（平成22年8月27日）

「整備新幹線問題に関する今後の対応について」（平成22年12月27日）

「整備新幹線の取扱いについて（政府・与党確認事項）」（平成23年12月26日）

「整備新幹線の取扱いについて（政府・与党申合せ）」（平成27年1月14日）

過去の実績値				（年度）	
H22	H23	H24	H25	H26	
—	—	21%（30万人）	21%（30万人）	114%（160万人）	



事務事業等の概要

主な事務事業等の概要

- ・新幹線鉄道の整備
 整備新幹線については、平成22年12月に東北新幹線（八戸・新青森間）が、平成23年3月に九州新幹線 鹿児島ルート（博多・新八代間）が開業。現在、北海道新幹線（新青森・新函館（仮称）間）、北陸新幹線（長野・金沢間）の2路線の建設が着実に進められている。
 また、平成24年6月29日に北海道新線（新函館（仮称）・札幌間）、北陸新幹線（金沢・敦賀間）、九州新幹線（武雄温泉・長崎間）の工事実施計画を認可したところである。
 予算額：整備新幹線整備事業費補助 156,000 百万円（平成26年度）
 整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金 2,385 百万円（平成26年度）

関連する事務事業等の概要

該当なし

測定・評価結果

目標の達成状況に関する分析

(指標の動向)
 外的要因としてJR東日本の平成25年3月16日のダイヤ改正により、東北新幹線の一部列車において東京・新青森間の輸送時間が、従来の3時間10分から最短2時間59分に短縮されたことで実績値の増加となった。さらに、平成27年3月14日の北陸新幹線（長野・金沢間）の開業により、新たに3時間圏が増加し、目標値を達成した。

(事務事業等の実施状況)
 整備新幹線の以下の路線について、本評価期間中に開業が予定されている。
 ・北海道新幹線（新青森-新函館北斗間） 27年度末開業予定

課題の特定と今後の取組みの方向性

業績指標について、整備新幹線の開業等により、新たに3時間圏が増加し、目標値に到達した。
 今後も広域的な幹線鉄道ネットワークの質的向上により全国一日交通圏の形成に一層寄与するため、引き続き、整備新幹線の着実な整備を進めるとともに在来線との接続の円滑化に向けた鉄道事業者及び沿線自治体の取組を支援し、新幹線と在来線が一体となったネットワークの形成を推進することとし、Aと評価した。
 なお、目標値を達成したことにより、次期目標については、施策の進捗及び平成27年度の国勢調査の結果を踏まえて設定することとする。

平成27年度以降における新規の取組みと見直し事項

(平成27年度)
 なし
 (平成28年度以降)

なし

担当課等（担当課長名等）

担当課：鉄道局幹線鉄道課（課長 村田 茂樹）
関係課：鉄道局都市鉄道政策課（課長 五十嵐 徹人）
 鉄道局施設課（課長 江口 秀二）